

Eco Island MIYAKOJIMA Marathon
Special Interview

エコアイランド宮古島マラソン実行委員会

実行副委員長 **平良 勝之** さん



宮 古島は日本一のトライアスロン大会があり、毎年3000名以上の申込があるが、参加定員があり半数以上は落選している状況でした。トライアスロンの選考に漏れた選手達を、なんとか宮古島に呼び込めないものかと考え、大会を企画しました。また、宮古島には全国的にブームとなっているフルマラソンの大会がなく、開催すれば間違いなく成功するという確信がありました。我々の狙いは島外から人を呼び込むことです。全国のランナーが宮古島を知り宣伝してもらおうことで、観光振興の起爆剤にしたいという思いで、日本トランスオーシャン航空（JTA）の波照間弘光宮古営業所長（現宮古支社長）とともに行政に働き掛けました。当時は、市町村合併で宮古島市が誕生して5周年

大会を通して「島を想う気持ち」を発信していく。

の時期だったことや、08年に「エコアイランド宮古島宣言」をしたこともあり、合併5周年記念事業として「エコアイランド宮古島マラソン」がスタートしました。この大会の魅力は沿道の声援と抜群の口けしヨソ。小さい子どもまで一緒に頑張って声援を送り、最後まで選手を背中を後押ししてくれました。また、伊良部大橋や来間大橋から眺める海の美しさなど、宮古島ならではの口けしヨソを堪能できます。マラソン終了後にはふれあいパーティーもあり、宮古島の食べ物や郷土芸能を楽しみながら



カーボン・オフセットで
経済産業大臣賞受賞！（16年）

参加者同士で交流を深めてほしいです。今大会から初めて、一部のエイドステーションで宮古島の特産物であるマンゴーを使った「マンゴージュース」を数量限定で提供します。今後も宮古島らしさを前面に出した新たな企画を考えていきたいです。再来年には10回目の記念大会を迎えます。記念大会に向けて、チームソングの作成や東京オリンピックと絡めた企画など、誰もが出場したくなるような構想を練っており、参加人数5000名を目標に取り組んでいます。



エイドステーションで
「マンゴージュース」を提供！

カーボン・オフセットとは？
日常生活や経済活動において避けることができない二酸化炭素などの温室効果ガスの排出について、排出量に見合った削減活動に投資することなどにより、排出される温室効果ガスを埋め合わせるという考え方。スポーツイベントでの受賞は初めて。

大会当日はコース上の交通規制が行われます。市民の皆様にはご迷惑をお掛けしますが、交通規制を守って大会の成功を支えてほしいと思います。また、沿道からの応援が選手の一歩の力になるので、ぜひ当日は応援に来ていただいで感動の一日をつくりましょう。こうして大会が開催できるのも協賛を頂いている協賛企業のおかげ。大会を通して、観光協会・行政・陸上競技協会などの関係機関と市民がスクラムを組んで、全国に「島を想う気持ち」を発信していきたいと考えています。



ていだ いんかじ
大橋を 太陽と海風にいだかれて
駆け抜ける 感動のゴールへ

エコアイランド宮古島マラソン

10月29日（日）

フル/ハーフ 9:00 スタート

10km 9:15 スタート

※大会当日はコース上の交通規制が行われます。市民の皆様のご協力をお願いします。交通規制の詳細は折り込みの啓蒙チラシをご覧ください。

- 主催：宮古島市・宮古島市教育委員会・（一社）宮古島市観光協会
- 共催：琉球新報社
- 主管：宮古島市陸上競技協会

エコアイランド宮古島マラソン実行委員会